

「もーりーカー」未登録者アンケートの結果（概要）

1 概要

調査対象：住民基本台帳から無作為抽出された 2,000 名の守山市民

※「もーりーカー」の登録者は除く。

調査期間：令和 5 年 2 月 6 日（月）～令和 5 年 2 月 28 日（火）

調査方法：市民懇談会の案内に同封して郵送し、返信用封筒により回収

回答状況：回答者 342 名 回答率 17.1%

2 調査内容

質問		質問の詳細
問 1	個人属性	・ 年齢、性別、学区、移動手段の状況
問 2	制度について	・ 認知度、登録要件、利用したいかどうか、利用しようと思わない理由

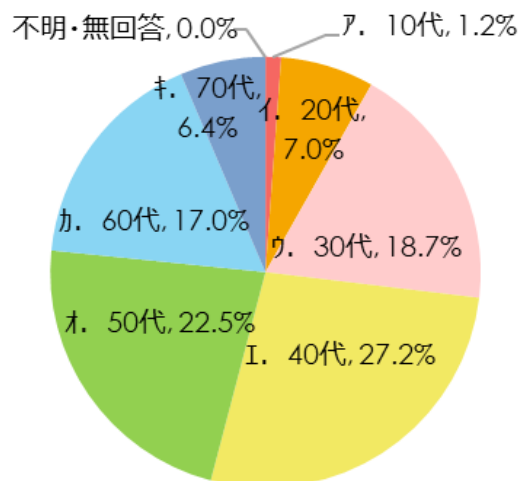
3 調査票、調査結果 別紙「参考資料 1」のとおり

4 調査結果概要

①【回答者 342 名の内訳】

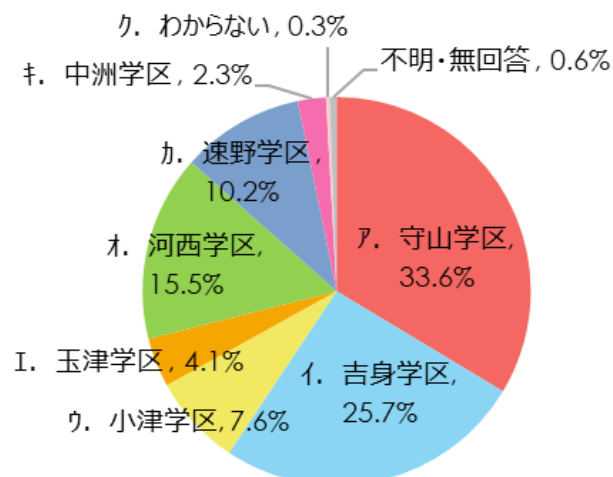
○年齢別

- ア. 10代(4件)
- イ. 20代(24件)
- ウ. 30代(64件)
- エ. 40代(93件)
- オ. 50代(77件)
- カ. 60代(58件)
- キ. 70代(22件)
- 不明・無回答(0件)

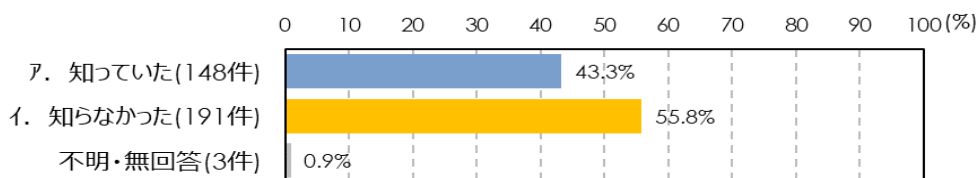


○学区別

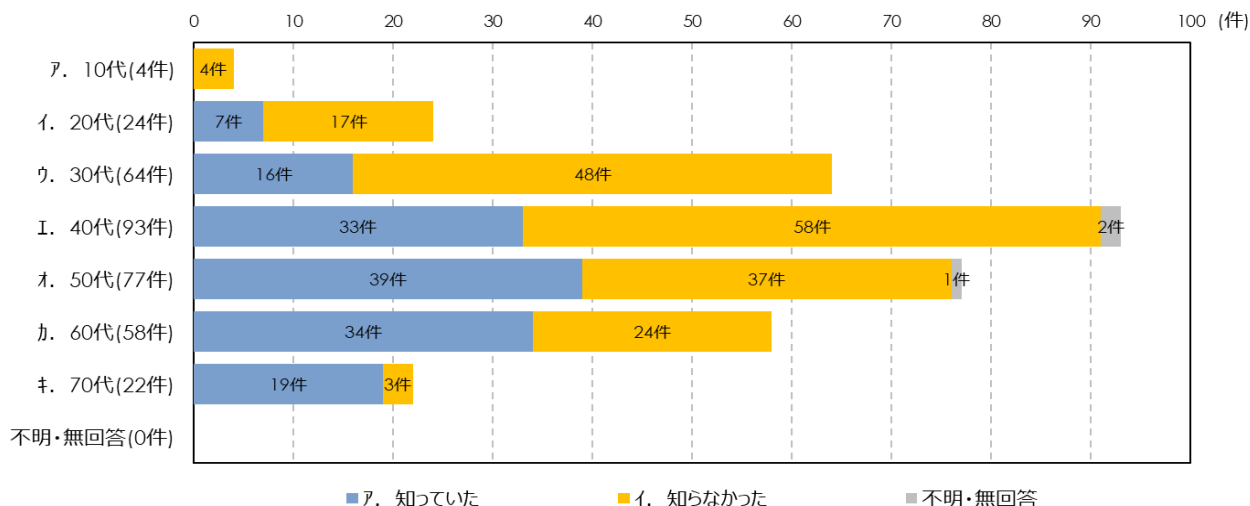
- ア. 守山学区(115件)
- イ. 吉身学区(88件)
- ウ. 小津学区(26件)
- エ. 玉津学区(14件)
- オ. 河西学区(53件)
- カ. 速野学区(35件)
- キ. 中洲学区(8件)
- ク. わからない(1件)
- 不明・無回答(2件)



②【モーリーカーを知っていたかどうか（認知度）】



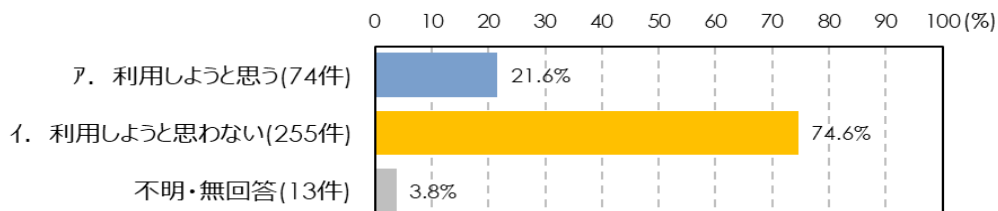
○年齢別



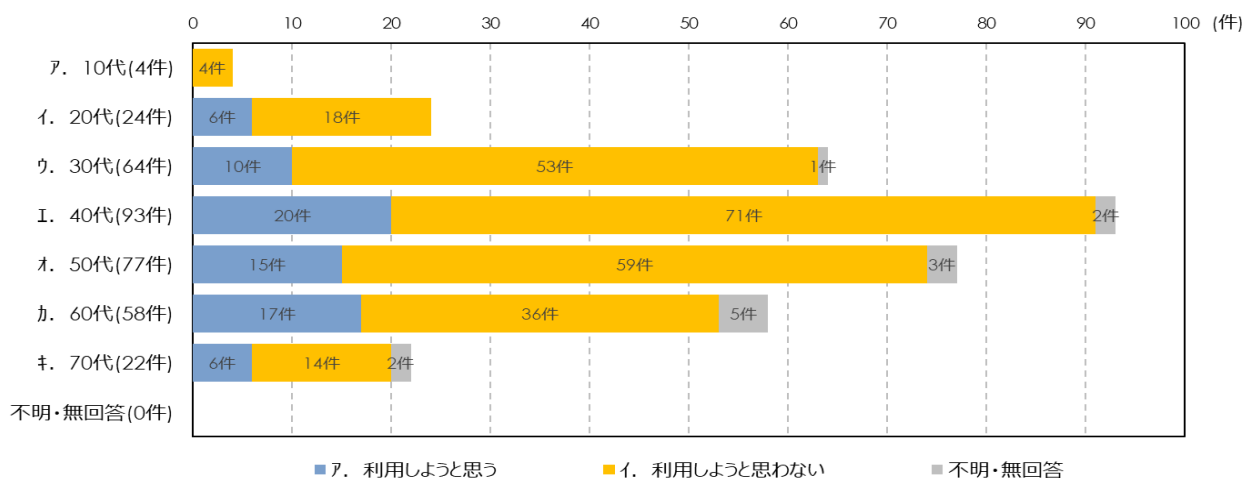
全体の認知度は 43.3%

年齢別にみると、年齢が上がるほど認知度も高く、70代以上では登録していない人でも大多数の人が「モーリーカー」を知っていると見られる。

③【モーリーカーを実際に利用しようと思うかどうか】



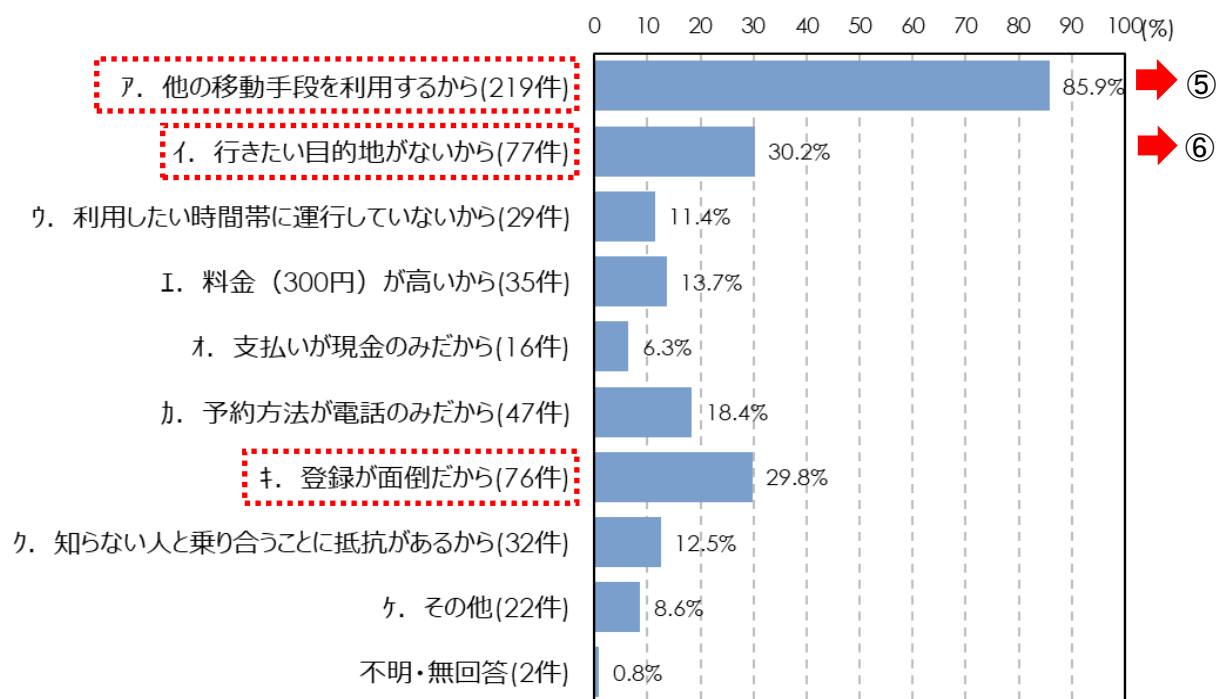
○年齢別



全体の 74.6%が「利用しようと思わない」との結果になった。

年齢との相関関係は見られず、70代以上のニーズが特別高いわけではないことがわかった。

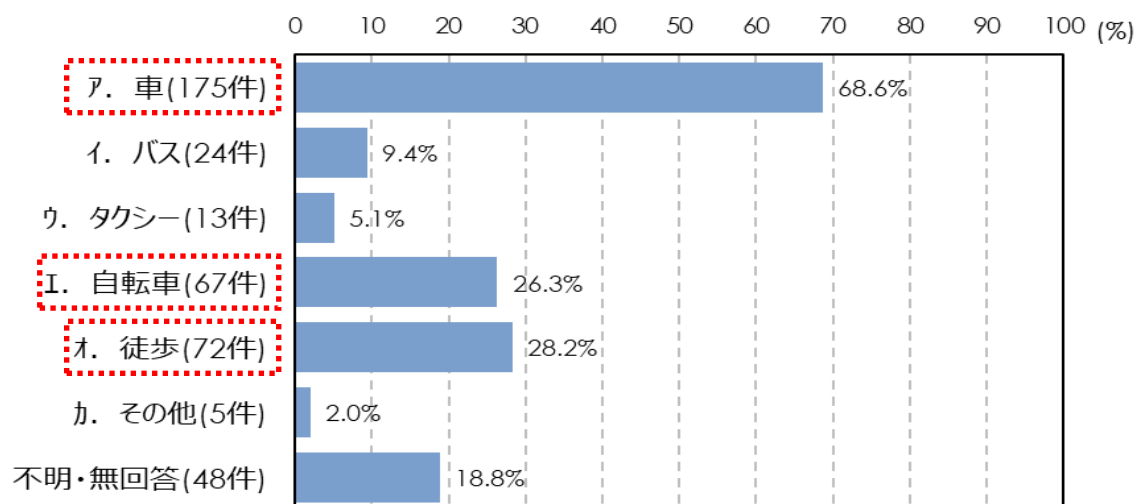
④【もーりーカーを利用しようと思わない理由】



「他の移動手段を利用するから」が 219 件で 85.9%と最も多く、次いで「行きたい目的地がないから」が 77 件で 30.2%、「登録が面倒だから」が 76 件で 29.8%と続いている。

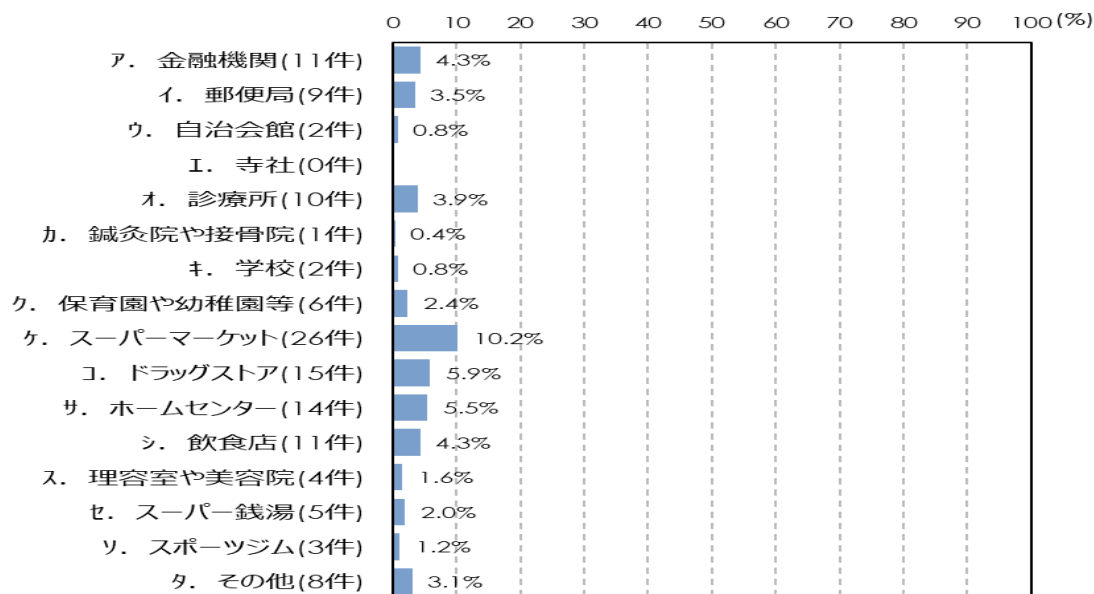
なお、学区や年齢による回答の偏りは見られないため、年齢等によらず他の移動手段が確保できている人は制度をあまり必要としていないと思われる。

⑤【もーりーカーを利用しようと思わない人のうち「他の移動手段を利用するから」と答えた人の移動手段の内訳（複数回答処理）】



「車」が 175 件で 68.6%と最も多く、次いで「徒歩」が 72 件で 28.2%、「自転車」が 67 件で 26.3%と続いている。

⑥【もーりーカーを利用しようと思わない人のうち「行きたい目的地がないから」と答えた人の行きたい目的地の内訳（複数回答処理）】



「スーパーマーケット」が 26 件で 10.2%と最も多く、次いで「ドラッグストア」が 15 件で 5.9%、さらに「ホームセンター」が 14 件で 5.5%と続いているが、突出して多いものはなかった。

⑦【もーりーカーに関する感想や要望（自由記載欄）】

- ・将来、免許を返納したらぜひ利用したい。
- ・このような良い制度があると知らなかった。もっと広報してほしい。
- ・決まった乗車時間がないので、予約するのが面倒
- ・若い人でも免許を持っていない人もいるので、幅広い年代で利用出来たらいいと思う。
- ・タクシーと比較して、料金はもっと高くても良いのではないかな。
- ・無料なら利用する。そうすれば免許返納も進むと思う。
- ・子どもが小さい時に知っていれば、乳幼児健診で利用したかった。子育て世代にもっと周知してほしい。

5 「もーりーカー」未登録者アンケート結果のまとめ

全体の認知度は 43.3%と半分以下であり、更なる周知が必要であるものの、現在の主な利用者層である 70 代以上の認知度は 86.4%と高く、高齢者に対しては一定の周知ができていると考えられる。

もーりーカーを利用しようと思うか思わないかについて、年齢等による差は見られず、未登録者のうち利用しようと思わない人の主な理由は「他の移動手段を利用するから」であり、現在は移動に困っていないため、制度を必要としていないと思われる。

以上のことから、もーりーカーは特に高齢者の認知度が圧倒的に高いが、高齢者においても他の移動手段を利用する人が多いため、もーりーカーの利用ニーズが他の世代と比べて特別高いわけではないことがわかった。今後においてはもーりーカーを必要としている人が利用できるよう、年齢に関わらず、更なる制度の周知が必要であると考えられる。